

10 周年記念式典に参加して (部会長)

福祉部会長

福-10 横井幸雄

本年度より福祉部会長を担当する事になって、何もわからない状況で記念行事に取組んだが、無事に盛況に終わって安堵した気持ちが正直なところです。

これも福祉部会の各グループの皆さんの協力のおかげと感謝の気持ちでいる。

記念式典での各グループのパレードは“わ”の実力と多岐の活動を示す機会となった事は喜ばしい気持ちでいる。参加したグループ数は73グループという多さで力を誇示出来たが、福祉部会の参加数は6グループと少ないのは残念に思うと共に気がかりな気持ちでいる。

福祉部会の活動は他のグループと比較して地味な事は仕方ないとしても、もう少し主流であるべき歴史が刻まれていて良いと思うのだが？何故ならシルバーカレッジもグループ“わ”も福祉が主体になっていると聞いている。

今井学長も機会のある毎に、カレッジの学生、卒業生に福祉文化の担い手になる事を説かれて、期待をされている。

この精神を忘れずに“わ”の活動、部会の活動を行うように、あらためて思うと共に責任の重さを感じた次第である。

福祉とは一言でいえば皆が幸せになる事である。

だれもが人間らしく、幸せに生きて行く為には、言葉、心、歌舞音楽の3Kがバランス良くある事が必要であると聞いた。これが福祉の心であると思う。

10周年の機会に、この精神を認識して新たな発展を期待したいと思った。

国際部会長

国-10 土井昭政

“わ”に入会、国際部会員となったが、1年間ほとんど部会にも顔を出さず、活動もしていなかった。が、しかし突然平成19年度の部会長を仰せつかり、最初の大仕事は10周年記念行事となった。

国際部会としては、すでに9月1日の記念式典でパレード参加、2日のイベントで外国人とのローンボール大会が決定されていた。当初どのようにパレードが実施され、どのようにローンボールに参加してくれる外国人を招聘するか、等々判らないことが多くあり、少々戸惑いがあった。

だが実際は、部員先輩の助言や協力、また展示・パフォーマンス部会長と地区交流・体験事業部会長の指導による数回の打ち合わせ会議で具体的な内容が明確になり、結果として本番では部員の協力で概ね上手く実施することができた。

パレード用グループ表示パネルは、小・中学生時代の工作を思い出し、多くの関係者と楽しく作ることができた。そして、パレードで国際部会をアピールできたと思う。ローンボール参加者の外国人招聘では、部員の方々のお世話で多くの参加者があり、大会は楽しいものとなった。

10周年記念行事の式典への来賓者多数、パレードでの各部会と数多くのグループの存在、そしてイベントでの多くの子供や人々との交流は、“わ”にとって大変有意義なアピールの機会であったと思う。時々是小規模な形でこのような行事を開催し、“わ”の行動力をアピールする機会を作ったらなと思った次第である。



環境部会長

生-7 西隈勝利

いささか時間を取られ、いささかのストレスを感じながらも、実行委員の一人として、そのとき、その場に立つ事が出来たことの感慨を今味わっています。

と同時にこの事業を行なったことにより“わ”に寄せられた期待は大きくなり、今まで以上の社会的責任と義務が生じたのではないのでしょうか。

となれば諸先輩が築かれた10年の重みを糧とし礎としてわの設立理念、その原点に立ち返った上での、わの在り方、現在行なっている活動の評価、その上に現在の社会情勢、待ったなしの環境問題等社会の変化に対応しつつ社会からの期待や要請にこたえる、今まで以上の組織としての力が求められてくると思われます。

しかしながら“わ”はその生い立ちからしても多方面にわたって対応できる人材の宝庫であり、わの理念を体現しながら第2の青春を謳歌、情熱を保持している人の集団で、社会の期待と要求に応えられる十分な潜在力を有していると確信しています。10年を契機として今後、より広く、より深く、よりきめ細かく、より明るく、そしてより楽しい人々の「わ」の“わ”になるであろうことを念じつつ、「わ 10周年雑感」とします。

